

公開講座

『INVISIBLE』70s～90s アンダーグラウンド映画の発掘と継承

ゲスト：鈴木章浩氏 (UNDERGROUND CINEMA FESTIVAL主催 / 映像作家)

聞き手：早見紗也佳 (金沢美術工芸大学 油画専攻 講師 / 映像作家)

2024年2月7日(水)～9日(金) 連日19:30-20:30 (終了予定) 参加無料

その日上映した作品を中心に、上映作品のキュレーション、アーカイブ活動を行う鈴木氏をむかえての講座を行います。

公開講座 特別同時上映

『アンダーグラウンド・シネマ・フェスティバル3』 [公式HP] <https://ucf3.sig-new.com/>

2024年2月7日(水)～9日(金) [3日間] 各日 14:00-16:00 / 18:00- (19:30-公開講座)

※各回開場は上映の10分前、受付は1回目の上映30分前から。

会場 金沢美術工芸大学 共通工房(メディアセンター)

6号館1階 シアター(6121) (46席+車椅子1席)

石川県金沢市小立野2丁目40-1 6号館1階

対象 一般、本学学生・教職員

※上映の内容はPG12相当です。一部性的な描写や、当時の倫理観のもと制作された作品があることを理解した上で12歳以下の入場は保護者の承諾を得て鑑賞をお願いいたします。その中でも、『乱・Easter』は一部、過激な性的描写がございますので、ご理解の上ご鑑賞いただきますよう、お願いいたします。

映画鑑賞料 [公開講座] 無料 [特別上映] 1プログラムごと一律 700円

※上記鑑賞料金は、貴重な個人映画を上映するために必要となる上映料です。ご協力のほど、お願いいたします。

※上映、公開講座、共に事前予約が必要です。(当日に空き席がある場合は、ご予約なくご入場いただけます)

上映プログラム

- | | |
|--|------------------------------|
| ① A『MOD FUCK EXPLOSION』+ B『Crazy Dolls』(80分) | ⑥ D『居田伊佐雄作品集 2』(87分) |
| ② B『TERMINAL USA』+ C『乱・Easter』(73分) | ⑦ ①『ねんねこりんりん』+ ②『とまとびん』(70分) |
| ③ C『蟹牡丹』+ D『サルビア姉妹』(74分) | ⑧ M『中村雅信作品集 1』(83分) |
| ④ E『破壊する光は訪れる』+ F『GARNET』(66分) | ⑨ N『中村雅信作品集 2』(91分) |
| ⑤ G『居田伊佐雄作品集 1』(82分) | |

タイムテーブル

	2/7 (水)	2/8 (木)	2/9 (金)
(上映) 14:00-15:30	④	⑤	⑨
(上映) 16:00-17:30	⑧	②	⑦
(上映) 18:00-19:30	①	③	⑥
19:30-20:30	公開講座:『INVISIBLE』70s～90s アンダーグラウンド映画の発掘と継承		

【お申し込み】 下記、URLもしくはQRコードよりアクセスいただき、フォーム内の説明をお読みいただいた上で、ご予約ください。

【予約フォーム】 Google form URL: <https://forms.gle/K5aEdam5wYdRXQzR6>

※当日シアターの窓口で、受付と上映に関する支払いをお願いいたします。その際、確認メールの画面も一緒にご提示ください。 ※万が一キャンセルの場合、担当早見(hayami@kanazawa-bidai.ac.jp)までご連絡ください。

【お問合せ】 mail: hayami@kanazawa-bidai.ac.jp (担当: 早見)

【主催】 UNDERGROUND CINEMA FESTIVAL (代表: 鈴木章浩)

【共催】 金沢美術工芸大学



公開講座

『INVISIBLE』

70s～90s アンダーグラウンド映画の発掘と継承

DIRECTOR
IN FOCUS

ジョン・モリツグ

TERMINAL USA

MOD FUCK
EXPLOSION

緑川珠見

蟹牡丹

サルビア姉妹

破壊する光は訪れる

GARNET

居田伊佐雄

居田伊佐雄作品集1

居田伊佐雄作品集2

BURNING
NAGOYA '80s

長谷川久

ねんねこりんりん

とまとびん

河原木宏尚

乱・Easter

Crazy Dolls

追悼・中村雅信

中村雅信

中村雅信作品集1

中村雅信作品集2

見えない世界、聞こえない声

INVISIBLE

学内地図



INVISIBLE

見えない世界、
聞こえない声

テーマは『INVISIBLE』=見えないもの。日常の裏に隠された真実や、個人の内面にある叫びを、先鋭的な感性と類をみない表現で映し出す映画たちを特集します。

パンク、シュール、ミニマル、クィア…。商業映画では決して描かれない衝動や欲望を、

既成の概念に縛られない自由な表現で描くのが、アンダーグラウンド映画の真骨頂。

時代の風俗としてのアングラではなく、その強烈な個性ゆえに地下に潜り、時代とともに見えない存在となった、

真にアンダーグラウンドな傑作たちを発掘し公開します。

観ることの出来なかった映像、聞かれることのなかった叫びが今、スクリーンに炸裂する！

※「天使の楽園」以外すべてデジタル上映。カッコ内はオリジナル・フォーマット。ニューデジタル版→ND ワールド・プレミア→WP

特集1 DIRECTOR IN FOCUS

ジョン・モリツグ Jon Moritsugu

日系アメリカ人でパンクの映画作家ジョン・モリツグ。1985年に映画制作を開始以降、DIYの精神を貫き、ローファイ映像とパンク・ミュージックに兼せて、ジャンル映画を脱構築するアナーキーな作品を作り続ける。今回は、日系モデル・マイノリティの善良なイメージを徹底的に破壊する2本の問題作を日本初公開。2023年にオリジナル・ネガより作成された2Kレストア版による上映。

①『MOD FUCK EXPLOSION』

1994年/USA/67分/カラー/デジタル(16mm)/日本語字幕 **日本初公開** 暴力溢れる都会を彷徨う無垢な十代の魂たち。トラッシュでストレンジな青春パンク・オデッセイ。 ※ニューヨーク・アンダーグラウンド映画祭「最優秀長編」



②『TERMINAL USA』

1993年/USA/57分/カラー/デジタル(16mm)/日本語字幕 **日本初公開** 日系家族の闇を超ブラックなユーモアで描く。メジャーでは絶対不可能なフリークアウト・ホームコメディ。 ※ロッテルダム国際映画祭ほか招待

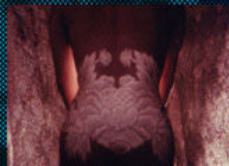


緑川珠見 Tamami Midorikawa

個人や家族の内に潜む愛憎や欲望を、独自のシュールなイメージと内面を抉る言葉で描く緑川珠見。美術や舞踏を経て映画に辿り着いたその作品は、自由にスタイルを変えながらも、耽美で生々しい身体性を持ち、観る者の精神を揺さぶる。映画の知識なしに制作を始めた緑川の、既存の映画を超えた感性の世界。通常の役者ではなく、舞踏家やダンサーを起用した演出も特徴的。長らく上映されていなかった8mmの代表作を一挙公開。

③『蟹牡丹』

1995年/日本/38分/カラー/デジタル(8mm) **ND WP** 封印された母と娘の愛憎の記憶を、鮮烈なイメージの連続で描く。静かな狂気と満ちた耽美な小宇宙。



④『サルビア姉妹』

1995年/日本/36分/カラー/デジタル(8mm) **ND WP** モノローグ、インタビューと重なる女性たちの日常。コラージュの中から浮かび上がる、生のリアル。主演は舞踏家・川本裕子とダンサー・堅田知里。



⑤『破壊する光は訪れる』

1996年/日本/30分/カラー/デジタル(8mm) **ND WP** 夏の日に出会った男女の交感する欲望。言葉にならないエロティシズムが哀苦しむほどに充満する。男を演じるのは、舞踏家・松下正己。



⑥『GARNET』

1996年/日本/36分/カラー/デジタル(8mm) **ND WP** 幽霊の出る家の記憶。母への執着と恐怖。閉塞的な家庭の重みと闇に捉われ続ける女性の独白。



居田伊佐雄 Isao Kota

70年代初期より個人映画を制作し、その緻密で端正な作品が国内外で高い評価を受けた映像作家・居田伊佐雄。長い間映画の世界と距離を置き、上映が困難だった至高の作品群が徐々に復活。映画の原初的な驚きが躍動するミニマルな構造映画から、自然を繊細に捉えるカメラの眼がマクロとミクロを繋ぐ幽玄の世界を生み出す作品まで、代表作を網羅した2プログラム16作品。

⑦『居田伊佐雄作品集 1』 (11作品・82分) **ND WP**

●『Far from the explosive form of fruit』1972年/日本/8分/カラー/デジタル(8mm) ●『ASCENSION』1972年/日本/4分/カラー/サイレント/デジタル(8mm) ●『マリリン・マグダリン』1972年/日本/9分/カラー/デジタル(8mm) ●『オランダ人の写真』1976年/日本/7分/カラー/サイレント/デジタル(16mm) ●『氣流』1975年/日本/14分/白黒/サイレント/デジタル(16mm) ●『プレバラート(100フィート版)』1977年/日本/3分/カラー/サイレント/デジタル(16mm) ●『鉱物学者』1977年/日本/11分/カラー/サイレント/デジタル(8mm) ●『子午線通過』1977年/日本/5分/カラー/デジタル(16mm) ●『ハンマー』1977年/日本/5分/カラー/デジタル(16mm) ●『北半球』1978年/日本/9分/カラー/デジタル(8mm) ●『満潮』1981年/日本/7分/カラー/デジタル(16mm)



⑧『居田伊佐雄作品集 2』 (5作品・87分) **ND WP**

●『エコ』1982年/日本/9分/カラー/デジタル(16mm) ●『回路計』1983年/日本/15分/カラー/デジタル(8mm) ●『影踏み』1983年/日本/14分/カラー/デジタル(16mm) ●『地球の石』1986年/日本/36分/カラー/デジタル(8mm) ●『大きな石小さな夜』1991年/日本/13分/カラー/サイレント/デジタル(8mm)



特集2 BURNING NAGOYA '80s

映画、ロック、小劇場、舞踏などの表現がジャンルを超えて混じり合い、燃え上がった80年代、名古屋アンダーグラウンド。その渦中でアナーキーな映画を作り上げた長谷川久と河原木宏尚を特集。2人とも既に故人となり、消失の危機に瀕していた作品に関係者の協力によりデジタル化。河原木宏尚の作品は既に廃棄されていたが、残されていたビデオテープより奇跡的に再生された。(※オリジナル素材に由来する映像・音声の乱れがありますが、ご容赦ください)

長谷川久 Hisashi Hasegawa

①『ねんねごりんりん』

1981年/日本/45分/カラー/デジタル(8mm) **ND WP** キャンプ感覚満載のトラッシュでキュートなSFラブ・メルヘン。壮大なスケールとチープな演出が冴え渡る80年代インディーズ・カルトの傑作! ※1981年びあフィルムフェスティバル入選



②『とまとびん』

1982年/日本/25分/カラー/デジタル(8mm) **ND WP** そら子とオマオの出会いと別れ、奇跡の再会を描く奇想天外メロドラマ。少年王者館の天野天街が野菜の妖精ニーナを怪演。 ※1982年フジ8mmコンテスト入選



河原木宏尚 Hironao Kawaragi

③『乱・Easter』

1981年/日本/16分/カラー/デジタル(8mm) **デジタル復刻版 WP** 大島渚をして「品性下劣!」と言わしめた超問題作。パンクと土着のアナキズムが炸裂する。アングラ文化とパンクが融合した「ヴィジュアル・スキャンダル」。 ※一部過激な性的描写がございます



④『Crazy Dolls』

1984年/日本/13分/カラー/デジタル(8mm) **デジタル復刻版 WP** 名古屋のパンクス、小劇場、舞踏などを総動員したサイバーパンク巨編として構想され、アフリカ・ロケまで敢行したが、未だに終わらなかった作品。主演は中村達也と渡辺まちこ。The Star Club、白虎社など豪華出演者にも注目。



特集3 追悼・中村雅信

2023年3月に逝去した異能の映像作家・中村雅信を追悼する特別上映。現存する45本の作品から、国内外で高い評価を得ている代表作を2プログラムで紹介する。『作品集1』は、デビュー作『猿猴』から『兆』まで、70~80年代の代表作で構成。独自のフェティッシュで耽美な映像による挑発的な世界。『作品集2』は、世界を見つめる視線から作家の心情が溢れ出す、90年代の「風景論」を特集。

中村雅信 Masanobu Nakamura

⑤『中村雅信作品集 1』 (6作品・83分) **ND**

●『猿猴』1969年/日本/16分/白黒/デジタル(8mm) ●『ANOTHER LIFE』1976年/日本/11分/カラー/デジタル(8mm) ●『奇病I』1977年/日本/3分/カラー/デジタル(16mm) ●『SUMMER IS GONE』1978年/日本/30分/カラー/デジタル(16mm) ●『迷宮』1982年/日本/10分/カラー/デジタル(16mm) ●『兆』1988年/日本/13分/カラー/デジタル(16mm) ※一部性的な描写がございます



⑥『中村雅信作品集 2』 (4作品・91分) **ND**

●『SO HARD FEELINGS』1991年/日本/20分/カラー/デジタル(Hi8) ●『わたしにみちかなくうきよ』1994年/日本/22分/カラー/デジタル(8mm) ●『わたしにひろがるくうきよ』1995年/日本/22分/カラー/デジタル(Hi8) ●『記憶の亡霊』1997年/日本/27分/カラー/デジタル(Hi8)



※上映の内容はPG12相当であり、一部性的な描写や、当時の倫理観のもと制作された作品があることをご理解ください。12歳以下の入場については保護者の承諾を得た上での鑑賞をお願いいたします。

※上映作品と本学との関係は一切ございません。